

長期固定金利住宅ローン 【フラット35】

《平成22年6月号》

サポートニュース

民間と
提携

■ 【フラット35】(買取型)の平成22年6月の取扱金融機関が提供する 金利が**直近1年**(※1)で**最低水準**(※2)に！！

1 返済期間が21年以上35年以下の場合の金利幅

最低2.41% ~ 最高3.36%

(取扱金融機関が提供する最も多い金利(最頻値)は、**2.66%**)

2 返済期間が20年以下の場合の金利幅

最低2.20% ~ 最高3.20%

(取扱金融機関が提供する最も多い金利(最頻値)は、**2.45%**)

詳細は、フラット35サイト(www.flat35.com)をご覧ください。

(※1)「直近1年」とは、平成21年7月から平成22年6月までのことをいいます。

(※2)「最低水準」とは、上記1及び2の最低値、最高値及び最頻値のすべてが平成21年7月以降、最も低いことを表しています。

(注1)段階金利型の金利は除いています。【フラット50】の金利は含みません。

(注2)別途、融資手数料がかかります。融資手数料は、取扱金融機関によって異なります。詳しくは、フラット35サイト(www.flat35.com)をご覧ください。

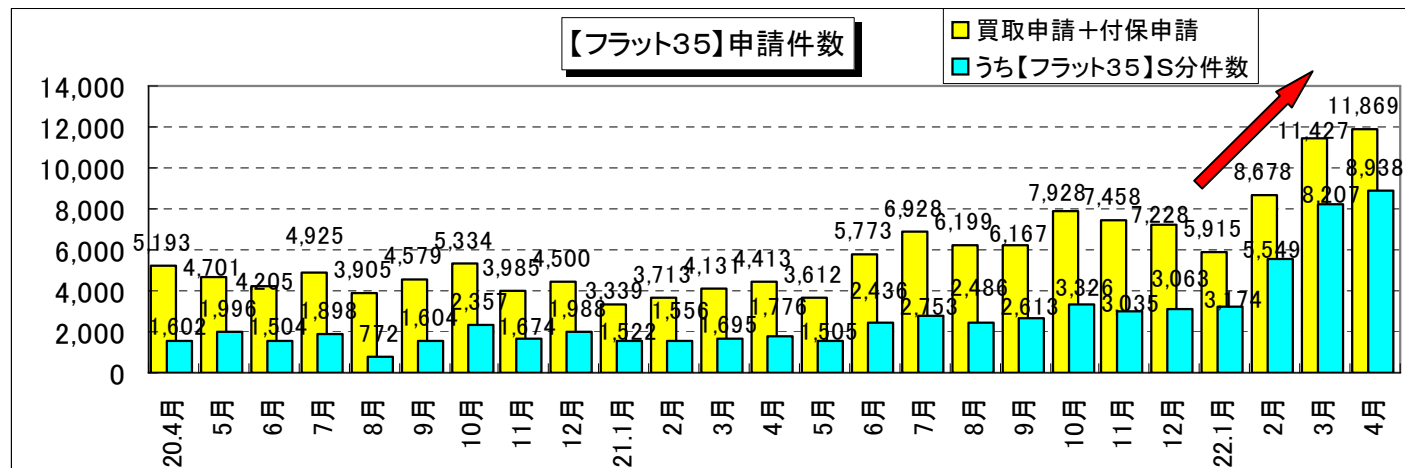
金利引下げ幅拡大中!

一定期間の金利を引き下げる【フラット35】S(優良住宅取得支援制度)の金利引下げ幅の拡大については、平成22年12月30日までのお申し込み分について適用されます。詳しくは、フラット35サイトをご覧ください。

※【フラット35】S(優良住宅取得支援制度)には募集金額があり、募集金額に達する見込みとなった場合は、受付を終了させていただきます。受付終了日は、終了する約3週間前にフラット35サイトでお知らせします。

■ 【フラット35】の申請件数(平成22年4月末)

「明日の安心と成長のための緊急経済対策」(平成21年12月閣議決定)による【フラット35】Sの制度拡充後、【フラット35】S(優良住宅取得支援制度)の申請件数が増加。平成22年4月は、全体で約11,800件、【フラット35】S(優良住宅取得支援制度)が約8,900件の申請となりました。【フラット35】S(優良住宅取得支援制度)の割合は全体の約75%に達しています。



※上記申請件数は、買取申請件数+付保申請件数の合計です。また、買取型及び保証型の双方に同時に申請している件数及び再申請分を含みます。

※上記申請件数には、フラット50の申請件数は含みません。



住宅金融支援機構
Japan Housing Finance Agency

(旧「住宅金融公庫」)

フラット35サイト www.flat35.com

お客様コールセンター

営業時間：毎日9:00~17:00(祝日、年末年始は除く)



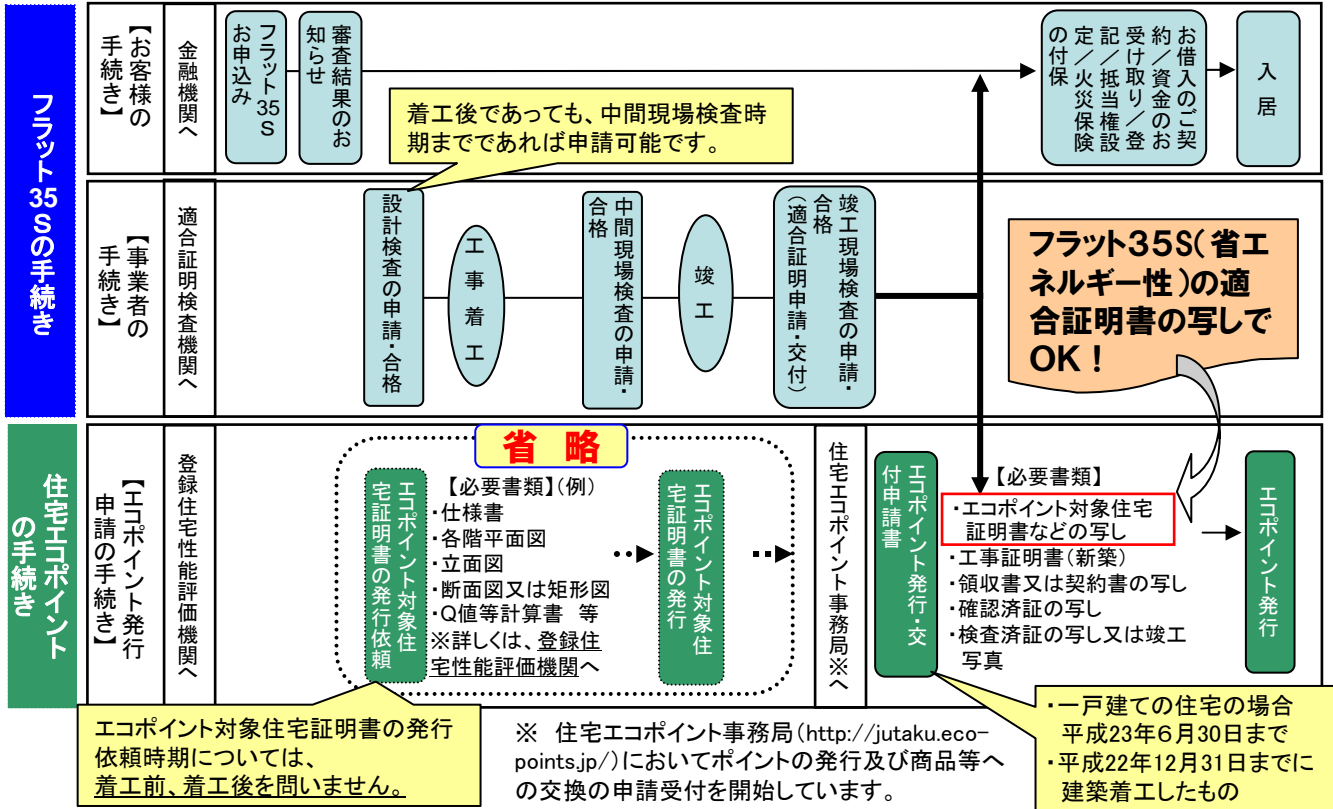
0570-0860-35

ご利用いただけない場合(IP電話など)は、次の番号へおかけください。

048-615-0420

【フラット35】S(省エネルギー性)を利用した場合の住宅エコポイントの手続き(木造・新築住宅の場合)

フラット35S(20年金利引下げタイプ)の省エネルギー性の場合の手続きは、フラット35サイト(www.flat35.com)をご覧ください。



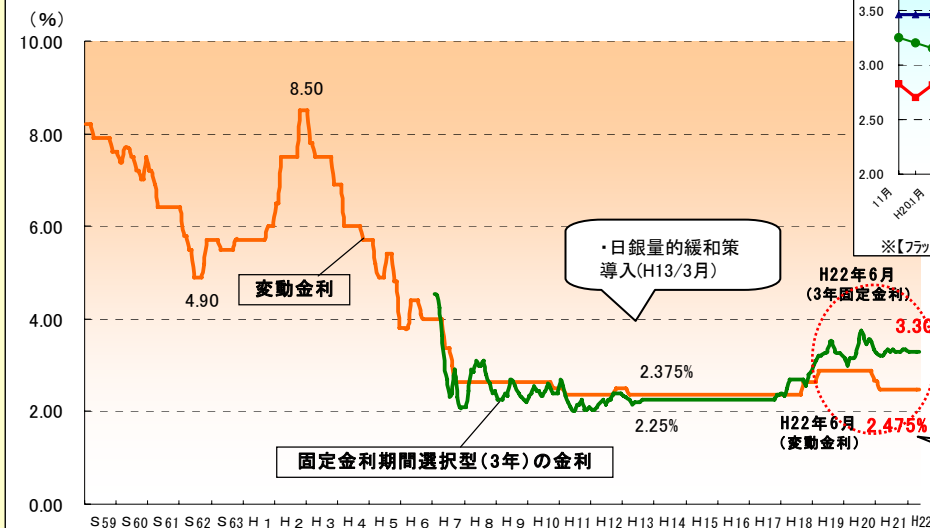
住宅エコポイント実施状況(平成22年4月末)

	新築			リフォーム		
	申請件数	発行件数	ポイント発行数	申請件数	発行件数	ポイント発行数
H22年3月	163	10	3,000,000	3,527	337	13,279,000
H22年4月	2,107	359	107,700,000	14,286	2,812	120,580,000

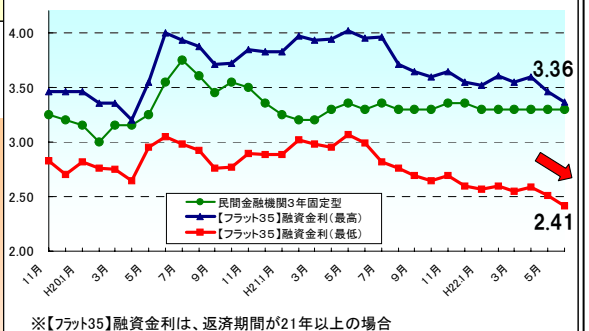
出所: 国土交通省ホームページ (<http://www.mlit.go.jp/>)

最近の民間住宅ローン金利及びフラット35融資金利の動向

民間金融機関の住宅ローン金利推移(変動金利等)



フラット35等の住宅ローン金利の推移



(※) 主要都市銀行における金利を掲載。なお、変動金利は昭和59年以降、固定金利期間選択型(3年)の金利は平成7年以降のデータを掲載。

※本資料は、住宅金融支援機構が各種資料をもとに独自にまとめたものであり、将来の金利予測を行うものではありません。

- ・日銀量的緩和策解除(H18/3月)
- ・日銀ゼロ金利政策解除(H18/7月)
- ・日銀追加利上げ(H19/2月)
- ・日銀政策金利引下げ(H20/10月)
- ・日銀追加利下げ(H20/12月)